



体指会報

Vol. 27

2006年1月31日

■発行／埼玉県体育指導委員協議会
 〒362-0031 上尾市東町3-1679
 ■発行責任者／新井博勝
 ■編集／埼玉県体育指導委員協議会広報委員会
 TEL 048-779-7537 FAX 048-779-7538

SAITAMA SPORTS

CONTENTS

全国体育指導委員研究協議会報告

わがまちの活動

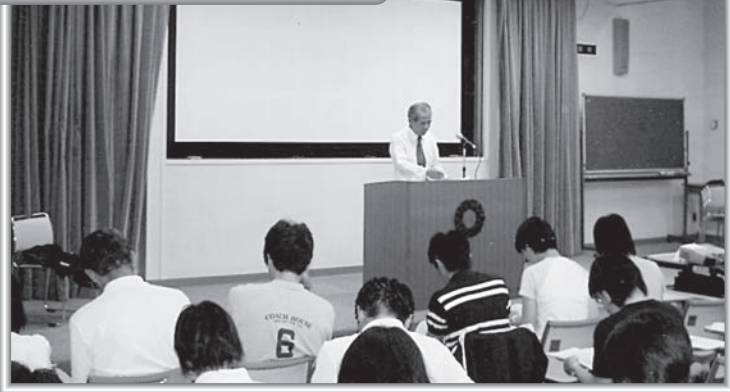
研修会報告

委員会の活動報告

TRAINERS ASSOCIATION



功労者表彰式



第1回 オープンセミナー



新任体育指導委員研修会



第1回 埼玉県体育指導委員研修会



ぽぽぽ

埼玉県体育指導委員協議会

会長 新井 博勝

委員の皆さん、日頃から地域のスポーツ振興にご協力を下さり大変ご苦労様です。

さて、県協議会の動きをお伝えしたいと思います。

県協議会事務局は、平成十五年八月、県立スポーツ研修センターに独立しましたが、折から進む市町村合併により、旧教育事務所単位に組織された十の地区協議会の一部に、活動や事務局設置に課題が生じました。

このため、県協議会は「平成十八年度以降の県体指協のあり方について」の検討委員会を重ね、去る七月臨時評議委員会を開きました。

決定事項の一つは、来年四月から県協議会と各市町村組織団体とは直接連絡体制の組織関連とすること、二点目は県協議会事業の質の保持のため、市町村合併による負担金減収分をやむ無く人口基準額の改定で市町村に協力を願うことでありました。

九月に入り各市町村教育委員会に依頼いたしましたところ、合併を目前に予算化不可能あるいは財政事情から増額不可能等の大変厳しい苦言をいた

きました。

県協議会はこの事実を真摯に受け止め、再び協議・検討を進めて、負担金及び規約の一部を見直し、再度各市町村教育委員会にお願いいたしましたところであります。

スポーツ振興法の改正で任意設置となった体育指導委員制度であります。委員が真に生涯スポーツの担い手として活動するに際しては、常に新しい情報と技術の習得が重要であることは紛れもありません。

連綿とこの研修事業等に取り組んできた県協議会の存在は、評議委員会で全会一致であり、今後とも意義ある組織体としてゆくには正に自主と自立が不可欠であると考えられています。

結びに、委員の皆さんの引き続いてのご協力とご活躍を祈念申し上げます。挨拶といた



ぽぽぽ

埼玉県教育局指導部

体育課長 廣川 貞夫

体育指導委員の皆様方には、日ごろから地域に根ざしたスポーツ・レクリエーション活動の推進を通して、本県スポーツ・レクリエーションの振興に大きな役割を果たしていただいておりますことに心から敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

さて、近年、生活が便利になり、身体を動かす機会が大幅に減少し、慢性的な運動不足の人が増えています。運動不足やスポーツの機会の減少は、体力の低下のみならず、人間関係の希薄化や、精神的ストレス、意識や集中力の欠如といった、精神面へも影響を及ぼしています。また、肥満や生活習慣病の増加や低年齢化など、心身の健康に係わる問題を生じさせてきました。このような中、県民の健康やスポーツ・レクリエーションに対する関心が年々高まっております。

本県では、埼玉県教育行政重点施策の一つに「健康の増進とスポーツ・レクリエーションの振興」を掲げ、埼玉県スポーツ振興計画「彩の国スポーツプラン2010」のもとに様々な施策を推進してまいりました。今年度は、

中間の年として、これまでの施策についての実績評価を行っております。その結果と課題等を踏まえ、「彩の国スポーツプラン2010」の見直しを行い、県民のスポーツ参加の促進と生涯にわたりスポーツを親しむことのできる環境づくりに、一層努めてまいります。

体育指導委員の皆様には、各地域のリーダーとして、スポーツ・レクリエーションの推進役を担っていただいておりますが、総合型地域スポーツクラブの育成をはじめ、住民に身近な立場からスポーツ振興を図る役割が、益々重要になってまいります。

貴協議会では、自主・自立の運営を目指し、来年度から新たな組織体制で、地域のスポーツ振興に一層積極的に取り組まれると伺っております。新体制の下、皆様のスポーツの振興に対する熱意と力を結集され、力強い一歩が踏み出されるものと確信しております。

むすびに、皆様方の日ごろの御活躍に改めて敬意と感謝を申し上げますとともに、貴協議会の益々の御発展を祈念申し上げます。あいさつといたします。

全国体育指導委員研究協議会に参加して



全国体育指導委員連合功労者表彰受賞者

川口市体育指導委員 副会長 村上 栄一

平成十七年十月十三・十四日に秋田県秋田市で開催された全国体育指導委員研究協議会に参加して参りました。

今回の研究大会で秋田県立能代工業高等学校バスケットボール部前監督、加藤廣志先生の講演を受講することが出来ました。「夢中になることの大切さ」、「組織作りは人づくり」、「ピンチを絶好のチャンスに、勝つためにすべきこと」、「自らの引き際と後継者育成の極意」等々テーマの中で、リーダーは燃えるような情熱を持って、ぶつかっていくことで子どもたちは応えてくれるように成るといふ。全国大会五十四回制覇の指導者でも指導することの大変さ、気持のあり方、難しさを大いに考えさせてくれる講演であり、大変有意義だったと思います。

秋田わか杉国体を二年後に控え、各施設を整備・建設計画を進めている最中での研究大会で全国四千数百名の参加者の前で全国体育指導委員特別功労者表彰を受賞することが出来ました。それは昭和五十七年四月、ソフトボールクラブの監督をしていたことで、地域の方々から推薦を受け、川口市体育

関東体育指導委員研究大会に参加して



「受賞を契機に新たな気持ちで」

大利根町体育指導委員 委員長 松島 良一

去る六月十日から十一日の二日間にわたり群馬県前橋市において関東体育指導委員研究大会が開催され、その中で功労者表彰を受賞いたしました。

思い起こせば二十三年前に地区体育協会長から体育指導委員をやってみなにか？の言葉を頂き、スポーツ大好き人間であった私は、軽い気持ちで引き受けました。「スポーツの実技指導から行事の企画・運営まで教育委員会と一体となり町民の望むスポーツ環境を作る。」この仕事は、地域スポーツの発展にとり重要であると認識し、これを第一に考え一生懸命活動してまいりました。

活動の中では、スポーツは何でも出来ると思われ、また要求される立場にあることに、たびたびプレッシャーを感じ、自分自身の知識のなさを思い知らされ、ガンバレ、ガンバレの一念で資質の向上を計り、町民に信頼される体育指導委員を目指して頑張っていました。また、家庭の理解・協力があつたからこそ、今まで続けてこれたのだと思います。

これからの我々の役割は、大きく変

革していくと思われれます。そうした中で将来の展望を考えますと、国の示したスポーツ振興基本計画の中の「成人が一週間に一回以上のスポーツ実施率を二人に一人（五十％）にする」という目的達成に向けた基盤作り、具体的にはスポーツを多様化させ、選択の出来る環境を整備し、場を提供していくことだと思えます。それには総合型地域スポーツクラブの設立が必要不可欠になつてまいります。ヨーロッパ型の考え方で、スポーツを文化と捉え、多視点・多世代をコンセプトにした新しい発想のクラブです。設立に向けて町の生涯スポーツ振興計画を基に、自分の生涯スポーツ振興計画を基に、自分の地域の域に合ったクラブ作りを積極的に育成・支援していくことが、これからの我々に課せられた大きな役割だと思えます。

私自身、この受賞を契機に更なる資質の向上を目指し、微力ながらも一度原点に立ち返り、見つめなおし自分の役割を再認識し、創意と工夫をし、仲間の体育指導委員と一丸となり生涯スポーツの振興に全力で取り組んでいく覚悟でございます。



埼玉県の体育指導委員として、川口市の指導委員として、又地域の指導委員として大勢の方々から評価していただけるようにとの思いを新たにしていって参りました。



全国優良団体表彰を受賞して

鴻巣市体育指導委員連絡協議会 会長 伊藤 精一

第四十六回全国体育指導委員研究協議会が、去る十月十三日・十四日の両日、秋田県において開催されました。

我が鴻巣市体育指導委員連絡協議会が、この全国大会におきまして、『全国優良団体表彰』という、大変な栄誉ある賞を受賞いたしました。

この受賞は、単に体育指導委員の活動年数や申請すれば表彰されるというものではなく、体育指導委員としての永年に亘る活動状況や委員会活動、さらには定期的な広報活動等、あらゆる面から市民の生涯スポーツの推進に密着した取り組みであるか、が評価されるものです。ですから、この受賞は我々体育指導委員におきましては大変意味深いものであると同時に、これまでの諸先輩の体育指導委員や多くの関係の皆様方のご努力ご支援のお陰と感謝申し上げます次第です。

ここで鴻巣市体育指導委員の主な取り組みを紹介させていただきます。

◎広報部会・研修部会・企画部会の3部会及び女性委員会に全員が所属し、それぞれの目的に応じて活動しております

が、更に充実した部会・委員会活動となるよう努力していきます。

◎広報誌『スポーツこうのす』

を年間2回発行し、市民への啓発活動に努めておりますが、今後は全戸配布を目指します。

◎県関係の埼玉駅伝・東日本実業団女子駅伝や市・教育委員会主催のスポーツイベントの役員、各種スポーツ教室、大会等の指導及び協力を行なっています。また、ニュースポーツの研修会の開催や市民向けの教室・大会を自主事業としても行っています。

◎その他、県の研修会、北足立北部管内宿泊研修会、女性部会研修会、関東・全国体育指導委員研究大会、市体育指導委員県外宿泊研修会等に積極的に参加し、体育指導委員としての資質向上のために努力しています。

私達体育指導委員四十名も今回の栄誉ある受賞に恥じることなく、今後とも地域住民の生涯スポーツの実現と元気で人輝くまちづくりの実現に向け、指導・助言に当って参る所存でございます。この度の受賞のご挨拶とさせていただきます。

平成17年度体育指導委員功労者表彰受賞者名簿

No.	氏名	性別	市町村名	体指歴	No.	氏名	性別	市町村名	体指歴	No.	氏名	性別	市町村名	体指歴
1	黒金 英明	男	さいたま市	16年	17	野中 勇	男	吹上町	17年	33	梅澤 哲男	男	寄居町	12年
2	永井 康明	男	さいたま市	15年	18	中村 光江	女	川越市	16年	34	内田 由利子	女	岡部町	14年
3	持田 召	女	さいたま市	15年	19	佐藤 光重	男	川越市	14年	35	中島 忠義	男	花園町	14年
4	甘利 みどり	女	さいたま市	15年	20	島村 さわ子	女	所沢市	16年	36	吉野 ただし	男	児玉町	13年
5	川瀨 良一	男	川口市	18年	21	若山 芳男	男	所沢市	16年	37	須賀 順子	女	上里町	12年
6	八巻 一夫	男	川口市	16年	22	青木 幸彦	男	飯能市	11年	38	臼倉 孝治	男	春日部市	17年
7	緑川 洋行	男	川口市	12年	23	大野 典英	男	狭山市	16年	39	石澤 邦雄	男	越谷市	15年
8	清水 カツ子	女	川口市	18年	24	三木 清始	男	入間市	15年	40	斉藤 敏夫	男	蓮田市	14年
9	蓮沼 美枝	女	草加市	14年	25	砂岡 喜代子	女	鶴ヶ島市	14年	41	長谷川 正文	男	幸手市	14年
10	沖田 三二	男	蕨市	13年	26	鈴木 敏子	女	日高市	15年	42	上山 静子	女	吉川市	14年
11	桑原 秀子	女	鳩ヶ谷市	11年	27	大熊 しげとし	男	大井町	15年	43	忽滑谷 寿美子	女	宮代町	10年
12	塩味 光夫	男	朝霞市	12年	28	関口 房雄	男	東松山市	10年	44	渡辺 ひでこ	女	栗橋町	11年
13	仁科 純子	女	新座市	12年	29	吉野 正和	男	滑川町	16年	45	大木 茂男	男	羽生市	14年
14	浪間 まり子	女	新座市	11年	30	南部 克俊	男	都幾川村	13年	46	佐藤 三男	男	北川辺町	14年
15	志村 マサ代	女	鴻巣市	16年	31	松本 和雄	男	秩父市	13年	47	内田 たかこ	女	川里町	14年
16	堀 公子	女	上尾市	12年	32	佐藤 彰	男	皆野町	15年					



↑関東体育指導委員協議会表彰

氏名	市	町	村
田中 孝一	さいたま市		
橋本 中川	さいたま市		
坂内 政司	さいたま市		
内村 栄	さいたま市		
星 恒夫	さいたま市		
豊 泉一	さいたま市		
内 田富	さいたま市		
小松 武良	さいたま市		



↑文部科学大臣表彰

氏名	市	町	村
加藤 弘	桶川市		
宮嶋 武志	川和町		
出浦 勲	神本町		
竹澤 歳夫	両川町		

体育指導委員団体表彰

鴻巣市体育指導委員連絡協議会



↓全国体育指導委員功労者表彰

氏名	市	町	村
新井 正明	さいたま市		
神村 敏男	さいたま市		
村上 榮一	さいたま市		
佐藤 茂子	さいたま市		
上藤 義一	さいたま市		
澤田 義則	さいたま市		
池田 義一	さいたま市		
山内 郁夫	さいたま市		

↓30年勤続体育指導委員表彰

氏名	市	町	村
渡辺 一成	さいたま市		
斉藤 義登	さいたま市		
中窪 政秋	さいたま市		
梨本 政富	さいたま市		
池谷 清一	さいたま市		
青柴 清正	さいたま市		
栗原 隆一	さいたま市		
関 清光	さいたま市		
筑 輪	さいたま市		



平成17年度埼玉県体育指導委員協議会功労者表彰



わがまちの活動



本庄市

本庄市体育指導委員 会長 竹田隆子

北の玄関口、本庄市の体育指導委員は男十八名女七名の二十五名。「緑と健康の都市本庄」の実現に向かって、市民の健康体づくりや生涯スポーツの振興に奮闘しています。

(一) 行政と連携してのバスハイク、ウオークラリー大会、ニユースポーツ教室、マラソン大会をはじめ、体協やレク協への協力事業も多々あります。

(二) 組織と環境づくりへの取り組みでは、生涯スポーツを推進するには、体育指導委員の組織づくりも重要、特性や興味関心等も生かせる部会制の導入と、参加者が参加し易い環境づくりが必要と考えました。事業の視点から①ハイキング②ファミリーバドミントン・マラソン③ウオークラリーの三部会と、企画広報委員会を設け各事業の企画立案や実施に当たっての中心的役割を担っています。

環境づくりでは、前年までのファミリーバドミントン出前教室が時間と金をかけた割に結果が出ず、そこで、いつ、どこで、誰を対象にするかなど検討し、週末の昼間は無理と判断。火曜の夜、交通は少々不便だが総合体育館で子連れ大歓迎で再出発。

子どもの為の係りやコートも確保、用具の工夫と木工遊びコーナーも提供。このことにより親も安心、子どもも飽きず遊べる教室終了後、クラブが誕生し、本年度は、若手の参加も増え、ようやく明るい兆しが見えてきました。

また、ウオークラリー大会では、発泡スチロールの魚を作り、つり気分を味わったり、ドジョウのつかみ取りや、吹矢、輪投げなどでコースに変化と工夫を加えた運営と普及活動に努めています。

(三) 体育指導委員は喜びと誇りを持って。その為には自己の健康管理も肝要。参加者や仲間にも笑顔で接する心がけも忘れてはならないと考えます。児玉町との合併もあり新生本庄市の誕生。住民の声を傾け、共通理解を深め合いなながら、今後の活動に全力投球して行きたいと思えます。



＜手づくり木工おもちゃコーナー＞



比企郡 小川町

小川町体育指導委員協議会 会長 恩田達司

私たちの住む「小川町」は、埼玉県のほぼ中央部に位置し、古くから和紙、酒、建具等の伝統的な産業を育み比企西部の拠点として繁栄してきた町です。

小川町のスポーツ活動への取組としては、昭和六十年に「健康・スポーツの町宣言」を行い、健康の増進と生涯スポーツの推進を掲げ、あらゆる機会を通じ、どこでも気軽にスポーツ活動に参加できるように意欲的、継続的に取り組んでいます。

その中で、私たち小川町体育指導委員協議会は、男性十三名、女性七名で活動を行っています。

その活動内容として、町体育協会加盟団体が主管して「町民」の冠を付けた大会を実施しており、私たちが協議会としては、「町民歩け歩け大会」を実施しております。また、全国から4千名以上もの参加を得て開催いたします、町挙げての最大のイベントとして位置づけられている「小川和紙マラソン大会」にも競技役員として協力しております。また、体育指導委員が中心となりニユースポーツ教室を実施しております。

その他、町内四地区ごとに体育祭を実施しており、各地区で委員会組織をつくり体育指導委員もその一員として開催に向けて取組を行っております。大会やスポーツ教室、体育祭を開催するにあたり、まず最初に「目

的は何か」を明確にすることが大切だと思います。次に体育指導委員としての関わり方だと思います。町民のふれあいによる地域の活性化や町づくり、心身の健康の保持・増進・体力の向上・青少年の健全育成、高齢化社会への生きがいづくりなどの目的を持って行うことが必要だと思います。

次に、体育指導委員としての関わりですが、大会やスポーツ教室を開催するにあたり、定例委員会等で、企画、運営について協議することが大切だと思います。ニユースポーツの普及、スポーツ教室の指導、スポーツ教室終了後の組織作り等十分に検討し行うことが必要だと思います。

以上のことをふまえ、大会やスポーツ教室に取組を行い、大勢の参加で開催しておりますが、開催する種目によっては、参加者が集まらずに開催できなかったこともありニユースポーツの取組についての難しさを感じました。

最後になりますが、地域スポーツの活動を第一に考え地域のために、どんな種目を実施しどんな風に楽しんでもらうかを考えることが、必要だと思います。それには、地域の人々と交流を図り、協力体制を作る。地域活動としての拠点である公民館等を活用する。そして、我々体育指導委員が、数多くがスポーツに触れ、技術を高めることが必要だと思います。

埼玉県体育指導委員協議会
第一回研修会に参加して

庄和町体育指導委員連絡協議会 今井 進



八月二十八日加須市民体育館において埼玉県体育指導委員協議会第一回研修会が約二百名の参加者のもと「やわらぐ・呼吸と共に：やわらぐ・弾力を持つて」のテーマでヨガにおける体操の実技研修が行われました。

始めに体の部位の関連（腕と足、腰椎と足裏）について、次に腹式呼吸についての説明がありましたが、私たちが現在普及活動をしているスポーツ吹き矢の基本も腹式呼吸でありその教授法は非常に参考になりました。

その後、腰椎関連部位に沿った体操（運動）を順次行って行きました。体育指導委員でありながらこの所、仕事の関係もあり運動をしていなかった体も実技が進むにつれてほぐされて行き、爽快な汗をかくことができました。三時の終了予定でしたが四十分以上もオーバーするほど熱心に教授して頂きました。

今回、久しぶりに研修に参加して、前述したように得るものもあり、改めて「体育指導委員としての資質向上に努めなければ」と言う初心を思い出させてもらった有意義な日になりました。日々、埼玉県体育指導委員の資質向上のために活躍して頂いている研修委員の方々、誠にありがとうございます。今後もすばらしい研修を企画して頂ける事を期待しております。

新任体指研修会に参加して

さいたま市体育指導委員 関口 高宏



先日（七月二十三日）県立スポーツ研修センターで行われました新任研修会に参加しました。午前中は、講義形式で「体育指導委員の任務と役割」「国・県のスポーツ振興施策」「ドッチボールの指導理論」を学びました。午後は、その実技指導を受けました。

皆さんもご存知のとおり、日本は世界トップクラスの長寿国で、生きる喜びや生きがいを求めて“生きる”ということが重要視されてきています。一方で、成人の五十%が週一回以上の運動をすることを目標に“総合型地域スポーツクラブ”の創設も急ピッチで進められています。

その指導的役割を担う体育指導委員の求められる資質として、「また会いたくなるような人」という項目が挙げられています。これは体育理論や指導技術が確かなのは勿論のこと、「人間的にも魅力を持ちあわせていることが大切」ということです。また、「スポーツを通して何を伝えたいのか？」という事に関しては、「スポーツマンシップ」（勝者を称え、敗者をいたわる）については「相手を慮る（気持ちこそ教えるべきなのです。講義・実技指導とも、とてもわかりやすく勉強になりました。職員の皆様、講師の方々には感謝申し上げます。ありがとうございます」

平成17年度埼玉県体育指導委員協議会役員

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
会長	新井博勝	坂戸市	理事	関山 繁一	白岡町	評議員	芦野 敏明	大井町	評議員	徳世 忠司	美里町	
副会長	石川 栄治	深谷市	理事	大熊 一郎	加須市	評議員	山田 上	川越市	評議員	鷺内 郁夫	栗橋町	
副会長	石川 進	上尾市	理事	松島 良一	大利根町	評議員	針ヶ谷 秀夫	所沢市	評議員	川鍋 守	春日部市	
副会長	宮嶋 武志	庄和町	理事	黒田 雅之	白岡町	評議員	栗原 一雄	坂戸市	評議員	金子 和彦	幸手市	
事務局長	石川 進	上尾市	理事	小澤 初枝	川島町	評議員	高山 英男	鳩山町	評議員	小山 武	菖蒲町	
理事	桑原 茂	さいたま市	理事	大塚 光武	鴻巣市	評議員	篠崎 英明	滑川町	評議員	神谷 憲	鷲宮町	
理事	浪江 好治	さいたま市	評議員	飯島 稔	さいたま市	評議員	内田 富三男	都幾川村	評議員	矢島 祥三	杉戸町	
理事	山野 辺範一	新座市	評議員	井藤 保	さいたま市	評議員	宇根 一元	東秩父村	評議員	飯田 勝男	松伏町	
理事	尾林 静	川口市	評議員	三井田 章	朝霞市	評議員	大澤 久保	嵐山町	評議員	窪塚 政秋	八潮市	
理事	加藤 弘	桶川市	評議員	荒島 まさ子	草加市	評議員	林 美佐男	長瀨町	評議員	鈴木 三四郎	吉川市	
理事	新井 威夫	鶴ヶ島市	評議員	大森 あい子	蕨市	評議員	植松 勝一	長瀨町	評議員	矢島 恒男	騎西町	
理事	中村 龍太郎	所沢市	評議員	松本 良一	鳩ヶ谷市	評議員	前野 久男	小鹿野町	評議員	金子 俊之	羽生市	
理事	宮澤 幹雄	小川町	評議員	佐々木 真人	和光市	評議員	木村 邦男	秩父市	評議員	谷田部 勝信	南河原村	
理事	杉田 清	玉川村	評議員	竹井 長次	吹上町	評議員	松本 和雄	秩父市	評議員	酒井 伸三	北川辺町	
理事	高山 英男	鳩山町	評議員	西川 慶一	伊奈町	評議員	黒沢 保雄	寄居町	評議員	宮澤 幹雄	小川町	
理事	小池 克三郎	秩父市	評議員	宮澤 通雄	北本市	評議員	渡部 明	花園町	監事	西川 慶一	伊奈町	
理事	出浦 勲	両神村	評議員	樋口 一雄	毛呂山町	評議員	菊池 義則	岡部町	監事	徳世 忠司	美里町	
理事	藤井 範子	熊谷市	評議員	橋本 秀樹	狭山市	評議員	岡村 正博	妻沼町	幹事	芹澤 まき子	川越市	
理事	竹田 隆子	本庄市	評議員	駒井 淳一	日高市	評議員	北岡 正彦	川本町				
理事	山越 進	神川町	評議員	豊泉 一雄	入間市	評議員	橋爪 信明	上里町				
理事	池ノ谷 一郎	越谷市	評議員	佐藤 茂	上福岡市	評議員	飯田 博樹	神泉村				

平成18年度 埼玉県体育指導委員協議会事業計画（予定）

期 日(曜)	事 業 名	会 場
5月27日(土)	第1回理事会・専門委員会	県立スポーツ研修センター
6月 3日(土)	評議員会・表彰式	県立スポーツ研修センター
6月 9日(金)・10(土)	関東体育指導委員研究大会	千葉県木更津市
7月 8日(土)	第2回理事会	県立スポーツ研修センター
11月16日(木)・17(金)	第47回全国体育指導委員研究協議会	大分県別府市
19年 3月24日(土)	第3回理事会	県立スポーツ研修センター

委員会の活動報告

研修委員会



研修委員長
黒田 雅之

平成十七年度の研修委員会の活動は、二回の研修会を今までにない事業を目指す事を目標に活動する事としました。一回目の活動は、既に終了となりました。「ヨガ」を取り入れた準備運動という事で大変好評を得た研修会となりました。第二回目は、来年二月に実施しますが常日頃皆さん方が活動している実態を発表し、討議議論を行い研究していく研修会を予定しています。

総務委員会



総務委員長
藤井 範子

事務局も三年目を迎え、何とか軌道に乗りホツとしたのも束の間、今年度は地区協の事務局が教育事務所から独立し、市の教育委員会や体育指導委員が事務局を引き継ぐことになり、今までと連絡ルートが変わり、諸連絡など始めのうちは気を使いました。

また、市町村合併も進み、県体指協の組織や負担金の見直しで、検討委員会や臨時評議員会が開催されるなど、節目の年になりました。

女性委員会



女性委員長
小澤 初枝

第一回埼玉県女性委員会が五月二十一日に開かれ、さいたま市、南部地区、東部地区の三区において、女性委員会が廃止になったとの報告がありました。これからは、存続している地区女性委員会の皆様に情報交換しながら、何かを見つけて活動を続けていかなければと思っております。

埼玉県女性委員会としては、体育指導委員協議会組織の御指導をいただきながらそれぞれの立場で頑張っていきたいと思っております。

広報委員会



広報委員長
大塚 光武

第一回目の広報委員会が五月二十一日に始まりました。新たな取り組みとして原稿の提出先が埼玉県体育指導委員協議会事務局のメール「体指会報に掲載」となり大変ご迷惑をおかけしました。今回から表紙が一色ずりになっておりますが、内容が充実しております。

訃報

さいたま市体育指導委員連絡協議会会長 桑原 茂 様が八月二日逝去されました。氏は地区長・また県研修委員会の担当として大変ご尽力されました。ここに哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



広報委員会

2006年
体指手帳
定価800円(税込,送料別)

お申し込み・問合せ先
埼玉県体育指導委員協議会事務局
TEL 048-779-7537
FAX 048-779-7538

(社)全国体育指導委員連合機関誌

みんなのスポーツ

毎月、地域スポーツ振興のための諸問題の特集
全国の体指の実践事例、生涯スポーツ情報満載

年間購読料 5,200円(1冊440円/B5判・48頁)

◎お申し込み・問い合わせは、市町村体指事務局、又は
日本体育社(TEL(FAX)03-3811-6911(6290))まで